

第2回策定委員会の振り返りと対応方針について

◆第2回各務原市都市計画マスタープラン策定委員会の概要

開催日時	令和7年1月24日（金） 15時00分～16時50分		
開催場所	各務原市産業文化センター 4階第2学習室		
出席者	学識経験を有する者	市民または市内の事業所に勤務する者	市職員
	服部 敦（委員長） 川口 暢子（副委員長） 萩原 拓也	土田 周策 石垣 時弘 江口 克己 渡邊 辰巳 永田 美帆 大野 雅尚	大矢 貢 村瀬 誠 中村 俊夫
次第	1 開会 2 委員長あいさつ 3 第1回策定委員会の振り返り 4 議事 （1）都市計画マスタープランの体系について （2）現行計画の評価について ・現行計画の進捗確認 ・計画改定にあたっての新たな視点 （3）市民アンケート結果について （4）各務原市の現状について （5）都市づくりの理念・目標について 5 その他 6 閉会		
	資料1 第1回策定委員会の振り返りと対応方針について 資料2 都市計画マスタープランの体系について 資料3-1 現行計画の評価について 資料3-2 現行計画の評価について 資料4 市民アンケート結果について 資料5 各務原市の現状について 資料6 都市づくりの理念・目標について		



【主な意見】

【対応方針】

理念1 理念2 理念3 目標全体	1 現行計画の評価について	1 現行計画の評価について →議事（4）資料6
	＜意見①＞ 事業の完了状況は評価されているが、進捗率と理念・目標の達成度の関連が不明確なため、進捗が理念達成にどの程度寄与しているか示すべき。	＜対応①＞ 現行計画で定めた事業の進捗状況を踏まえた理念の達成状況がわかるように再度整理します。
	2 市民アンケート結果について	2 市民アンケート結果について →資料2
	＜意見②＞ 問6について、点数評価と定性評価の対応が不明瞭で、相対評価の影響により満足度とのずれが生じているため、基準値の明確化や母数の調整を行い、評価の信頼性を高める必要がある。	＜対応②＞ 現在の満足度と今後の重要度の“わからない（0点）”を除き、満足（重要）4点、やや満足（重要）3点、やや不満（あまり重要ではない）2点、不満（重要ではない）1点として再度集計します。
	3 都市づくりの理念・目標について	3 都市づくりの理念・目標について →議事（1）資料3
	＜意見③＞ 交通軸の考え方は良いが、『広がる』はスプロールを連想させるため、『つながらる』などネットワーク化を強調する表現にしてはどうか。	＜対応③＞ ご意見を踏まえ、都市づくりの理念1を「交通軸からつながる生活圏で暮らせる都市」に修正します。
	＜意見④＞ 総合計画の基本目標5『みんなで支えあい健やかに暮らせるまち』は都市づくりの理念1に関連し、防犯・防災が中心の都市づくりの理念4とは異なるため、施策の反映状況も踏まえ、分類を再考してはどうか。	＜対応④＞ 基本目標5「みんなで支えあい健やかに暮らせるまち」は、都市づくりの理念4「安全・安心な都市」ではなく、都市づくりの理念1「交通軸からつながる生活圏で暮らせる都市」との関連に修正します。
	＜意見⑤＞ コンパクトなまちづくりを考えると、公共交通中心の理念が後退し、道路整備との整理が課題となる。理念2の目標『道路網が充実した都市づくり』は即物的で違和感があり、公共交通とのバランスを再検討すべき。	＜対応⑤＞ 「道路網が充実した都市づくり」は、理念1「便利で暮らしやすい都市」、理念2「産業の創出」双方の目標に含まれている内容であるため、削除します。
	＜意見⑥＞ 雇用を創出するは、高い求人倍率や人手不足を踏まえると適切でなく、省力化・DX推進に即した『活力を創出する』が望ましい。用地・雇用を細分化せず、既存産業の振興と新産業創出への見直しを検討すべき。	＜対応⑥＞ 都市づくりの理念2の目標を「既存産業の振興、新たな産業用地・雇用を創出する都市づくり」から、“用地・雇用”を削除し「既存産業の振興、新たな産業を創出する都市づくり」に修正します。
	＜意見⑦＞ 理念の『自然と調和した都市』という表現では、都市と自然が対立構造にあるように感じてしまう。	＜対応⑦＞ 都市づくりの理念3『自然と調和した都市』を『まちと自然が調和した都市』に修正します。 また、目標を1つに統合し、「美しい水と緑を継承・創出する都市づくり」に修正します。
	＜意見⑧＞ 目標が2つあるが、違いが不明確である。『水と緑に包まれた美しい都市づくり』は理念的で、目標の区別が不明確なため、2つの目標の必要性や具体化を再検討すべき。	
	＜意見⑨＞ 『特色や魅力を体感できる場づくり』は、パークレンジャーの活動や民間活力の活用など多様な要素を含むため、『保全・創出・活用』にこだわる必要はないかもしれないが、2つの目標が似ているため整理が必要。	
	＜意見⑩＞ 『郷土への誇りや愛着が醸成された都市づくり』は達成済みの印象を与えるため、『郷土への誇りや愛着を醸成する都市づくり』に修正すべき。	＜対応⑧＞ ご意見を踏まえ、都市づくりの理念5の目標を『郷土への誇りや愛着を醸成する都市づくり』に修正します。
	＜意見⑪＞ 『都市づくり』を最後につけることで表現が制約され、柔軟性が失われているように感じる。統一の意図は理解できるが、すべての目標に当てはめる必要があるのか疑問があり、総合的な視点では統一しなくてもよいのではないか。	＜対応⑨＞ 前回の案から表現を見直しつつ、理念の最後に“都市づくり”をつけることで、表記の統一感を図りたいと考えています。